

【研究情報の公表について（オプトアウト）の説明】

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い、実施します。

臨床研究のうち、患者への侵襲や介入がなく、診療情報等の情報のみを用いる研究や、余った検体のみを用いる研究は、国が定めた指針（『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』）に基づき、対象となる全員の方から個別に、直接同意を得ることはしていません。

研究に関する情報を公開し、さらに拒否の機会を保障するようにしております。これを「オプトアウト」と言います。

研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。

詳細は公表しております各研究のお知らせをご確認下さい。

単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術をお受けになった患者様の情報の研究

利用についてのお知らせ

この度、板橋中央総合病院消化器病センター（外科）では、「単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術をお受けになった方を対象とした治療成績に関する研究」を実施することになりました。

この研究の目的は、単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術をお受けになった方の術後治療成績を調べることです。この研究のため、平成20年4月から平成31年1月までに、当院で単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術をお受けになった患者様の調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（検査所見、既往歴および現病歴、採血結果等）のみです。患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査した情報は本研究責任者の下で厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

この研究に必要な資金は、研究責任者が準備します。研究を実施するにあたり、研究者が公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けていることはありません。

また、ご自身の情報を研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関する資料をご覧になりたい場合、またはご質問がございましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

平成31年3月

板橋中央総合病院
消化器病センター（外科）
研究責任者：多賀谷信美
連絡先：03-3967-1181